

製品名: NGF (12T9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14676**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	NGF
別名	NGF; Beta-NGF; HSN5; MGC161426; MGC161428; NGFB; proNGF;
遺伝子 ID	4803.0
SwissProt ID	P01138
免疫原	ヒト NGF の合成ペプチド

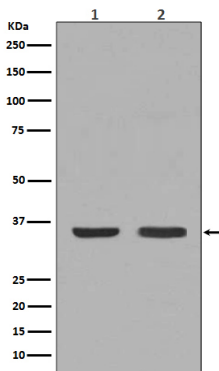
背景

神経成長因子（NGF）は、神経細胞の生存と分化を促進する神経栄養因子ファミリーに属する、分泌性の小さなタンパク質です。NGF 産生細胞は NGF を放出し、TrkA 高親和性受容体に結合して活性化し、NGF 駆動性シグナル伝達を媒介します。NGF はまた、デスレセプターファミリーに属する低親和性 p75 (NTR) 受容体にも結合します。神経成長因子は、交感神経系と感覚神経系の発達と維持に重要です (PubMed:14976160、PubMed:20978020)。NTRK1 受容体および NGFR 受容体の細胞外リガンドは、細胞シグナル伝達カスケードを活性化し、神経細胞の増殖、分化、および生存を制御します (PubMed:20978020) (可能性あり)。未熟 NGF 前駆体 (proNGF) は、SORCS2 と NGFR によって形成されるヘテロ二量体受容体のリガンドとして機能し、RAC1 および / または RAC2 の不活性化、アクチン細胞骨格の再構築、そして神経成長円錐の崩壊につながる細胞シグナル伝達カスケードを活性化します。成熟 NGF とは対照的に、前駆体型 (proNGF) は神経細胞のアポトーシスを促進する (in vitro) (類似性による)。血小板糖タンパク質 VI のメタロプロテアーゼ依存性タンパク質分解を阻害する (PubMed:20164177)。ホモ二量体の 2 つの鎖の間にリゾホスファチジルイノシトールとリゾホスファチジルセリンを結合する。脂質結合型は、脂質非結合型とは対照的に、肥満細胞からのヒスタミン放出を促進する (類似性による)。

研究分野

神経科学

画像データ



(1) マウス甲状腺溶解液、(2) HeLa 細胞溶解液における NGF 発現のウエスタンブロット分析。